

「数学科」 授業のデザイン

授業者：白井 貴晃


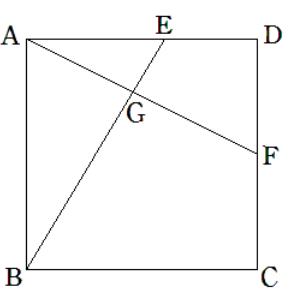
- 1 日時 平成30年10月31日（水）5校時
- 2 学級 3年1組
- 3 題材（単元） 5章 相似な図形
- 4 本時の授業

(1) 目標 平行線によってできる相似な三角形を使って、課題を考えることができる。

(2) 授業の取り組み

- ・罫線を利用し、ノートを三等分する方法を考える。
- ・平行線に着目し、課題の解決方法を考えていく。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 平行線を利用し、課題解決の方法を考えよう </div> <p>②基礎の課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>下の図のように、ノートを三等分しなさい。ただし、定規やコンパスで長さを測ることはなしとする。</p>  </div> <p>班の形で行うが、個人で作業を進める。実際に紙に書き込んだり、折り曲げたりしながら考える。</p> <p>③ジャンプの課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>右の図は、1辺の長さが10cmの正方形である。点Eは辺AD上にあり $AE:ED=3:2$ である。また、点Fは辺CDの中点である。線分AFと線分BEの交点をGとすると、$AG:GF$を整数の比で求めなさい。</p>  </div> <p>補助線（平行線）をかき入れながら、相似な三角形を見つける。中点連結定理などを用いて、課題解決を進める。</p>	<p>指導上の留意点等</p> <p>本時のめあては、基礎の課題が終わってから提示し、今日のキーワードが「平行線」であることを強調する。</p> <p>ただし、なかなか課題が進まない場合は途中でキーワードを出す。</p> <p>どこに平行線をかき入れるかがポイントになる。なかなか進まない場合は、どこで困っているかを全体場で共有する。</p>